

九州北部豪雨災害 農業ボランティア日記(1) (1日目~5日目)

社協の災害ボランティアの受け付けが9月末で終わり、いったん休止でしたが、11月からJA朝倉の農業ボランティアの受け付けが始まっております。新見さんからの情報で、12月から農業ボラに参加を始めました。受付日が(金・土・日)のみなので、多くはいけません、随時参加させています。高速道路の無料化も6月末までになったので、参加しやすくなりました。12月~1月で5回参加しましたので「農業ボランティア日記(1)」として報告します。

1日目

12月3日(土) 朝倉市 無花果農家

作業内容 16人のグループで、無花果農家のビニールハウス内に流入した土砂の書き出し。



牡蠣選果場内の敷地がボランティアセンター



災害ボランティアに比べれば、受付も簡素です

12月3日(日)	出発時刻	団体名	人数	場所	作業内容	配車	備考
個人配車		◎ 七まわり	3	無花果農家	柿 国 土砂出し	緑	
①○○○		わたん	5				
②○○○		◎ 福大	4				
③○○○		個人	20	自治院	ハウス土砂出し	赤	
④○○○		事務局携帯					080-2826-2609

今日のマッチング

ボランティアも30人程度です



無花果栽培のビニールハウス、この中の泥出しです

2日目

12月16日(土)

朝倉市 柿農家

新見さん、高上さん、泉さん、山之内さんに参加頂きました。

作業内容 新見さんと女性は、広大な柿農園で、収穫出来なかった柿の摘果作業(柿落とし)

高上さんと武方は農園の土砂かき



今日は大学生のグループが入っています



広大な柿農園に食べ頃の柿がたわわに



食べ頃の柿は収穫、持ち帰り自由、女性歡ぶ

3日目

12月17日(土)

朝倉市 昨日同じ柿農家

作業内容 ひたすら柿落とし、 いい加減に飽きてくる 今日も大量に持ち帰る



残っている柿は、手が届かないもの



大量に捨てている もったいないこと



広大な柿農園 道路が寸断され今年はお荷できなかった

でも、摘果しておかないと、次年度の収穫が落ちるとのこと

4日目

1月26日(金)

朝倉市 AMは桃農家、PMは別の敷地のガレキ搬出

作業内容 桃用ビニールハウスの裾部の止水版の埋め込み



ビニールハウスの裾に止水版があることを初めて知る

午後からは、農地のガレキの搬出



広い敷地にガレキが流入



搬出したガレキ類(流木が主体)

5日目

1月27日(土)

朝倉市 柿農家

作業内容 柿農園の土砂出し(もうほぼ終盤)

末松さん、泉さん、山之内さん に参加頂きました



末松さん

山之内さん

泉さん

武方



末松さんは上着を脱いでスコップ作業



泉さん、山之内さんは一輪車作業

二人共一輪車は初めての様で、最初は一輪車の取っ手を1本ずつ2人で持って押し始めました。当然すぐに転倒、新しい発想でしたが、その愚かさが分かったようです。

最後に園主から「11月には柿を見に来てください」との感謝の言葉

泉さんはすかさず電話番号を聞く、抜け目がありません

